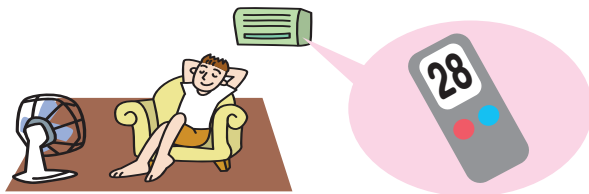




ポイント② 家電の対策(エアコン)

- 帰宅時は、エアコンをつける前にまず部屋を換気して室内の熱を逃がしましょう。無駄な電力を使わずに済みます。
- 設定温度は28℃を目安にしましょう。扇風機を併用すれば、風が体に当たることで体感温度が下がり、設定温度を高めにしても快適です。なお、設定温度を1℃上げるだけで約10%の節電になります。

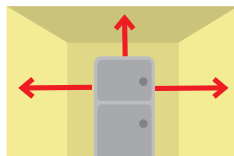


- 「部屋が涼しくなったら電源を切り、暑くなったら再び電源を入れる」というようにこまめに電源の入切を行うと、多くの電気を使う場合があります。設定温度で調節するようにしましょう。
- エアコンのフィルターや冷却フィンにホコリなどが溜まると冷房効率が落ち、電力を多く消費します。フィルターは月に1～2回、冷却フィンにはシーズン前にキレイにしましょう。
- 室外機の対策も重要です。直射日光を防ぐ日除けの設置や、吹出口の周囲を塞がないように整理整頓することで冷却効率が上がり、節電につながります。



ポイント③ 家電の対策(冷蔵庫)

- 冷蔵庫の放熱を妨げないために、周囲に適度なすき間を空けましょう。また、冷蔵庫上部にはものを置かないようにしましょう。
- 冷蔵庫の中に入っているものをメモして冷蔵庫に貼り付けておけば、ムダな扉開閉の回数や時間を減らすことができ節電になります。
- 賞味期限が切れた食品や常温保存できる食品は冷蔵庫から出しましょう。庫内を整理することでムダな電力消費を防ぐことができます。
- 冷凍室は食品を詰めて入れることで、冷却効率が高まります。
- 冷蔵庫はここ10年間で省エネ性能が大きく向上し、消費電力量が1/3程度になりました。古い冷蔵庫から最新の冷蔵庫への買い替えをするのもよいでしょう。



501リットル冷蔵庫の年間消費電力量(kWh/年)



年間約14,000円の節約に!!

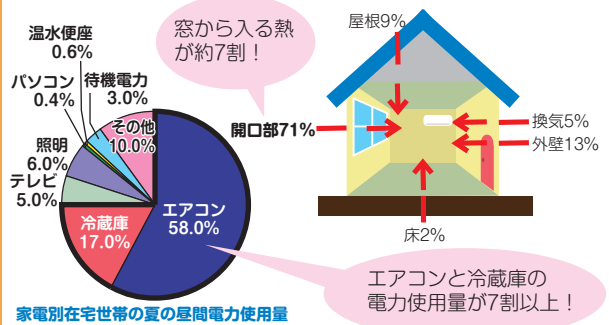
今回のテーマ 「夏の節電3大ポイント」

いよいよ本格的な夏を迎えます。

夏の強い日差しや熱気などで屋内に入る熱のうち、約7割が窓から入るといわれています。また、夏に活躍するエアコンや冷蔵庫の使用電力量は、全家電の7割以上といわれています。

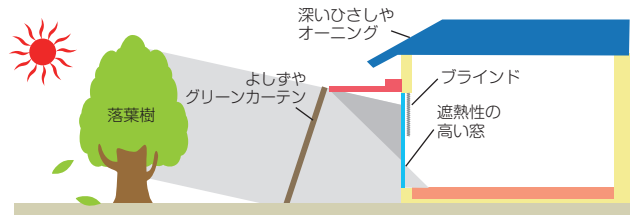
この季節にあわせた住まいや家電の対策を効果的に行って、オトクで快適な夏を過ごしましょう。

夏の冷房時に外から熱が入る割合の例



ポイント① 住まいの対策(窓とその周辺)

- 窓の遮熱・断熱対策は、日中の室温上昇を抑えて冷房時間を短くするとともに、冷房効率を高めるカギを握っています。



- 植栽・よしず・グリーンカーテンなど、まずは窓の外側から直射日光による熱を遮りましょう。窓の内側から遮るよりも高い効果が得られます。
- 窓はガラスとサッシで構成されています。費用は掛かりますが、単板ガラスをペアガラスへ、アルミ製サッシは樹脂製サッシへ付け替えることで、断熱性能が大きく向上します。
- 日中でもカーテンやブラインドを閉めることで、窓からの熱の流入を防いで冷房効率を高めることができます。

電気代がひと目でわかる「電力測定器」

実際に電気代や消費電力量がどのくらいかを調べたいときに便利なのが、電力測定器です。

環境政策課で無料貸出をしていますので、ぜひご利用ください。



下水道ひと・水・くらしの交差点

～出雲市流域関連公共下水道事業の事業計画区域を拡大しました～

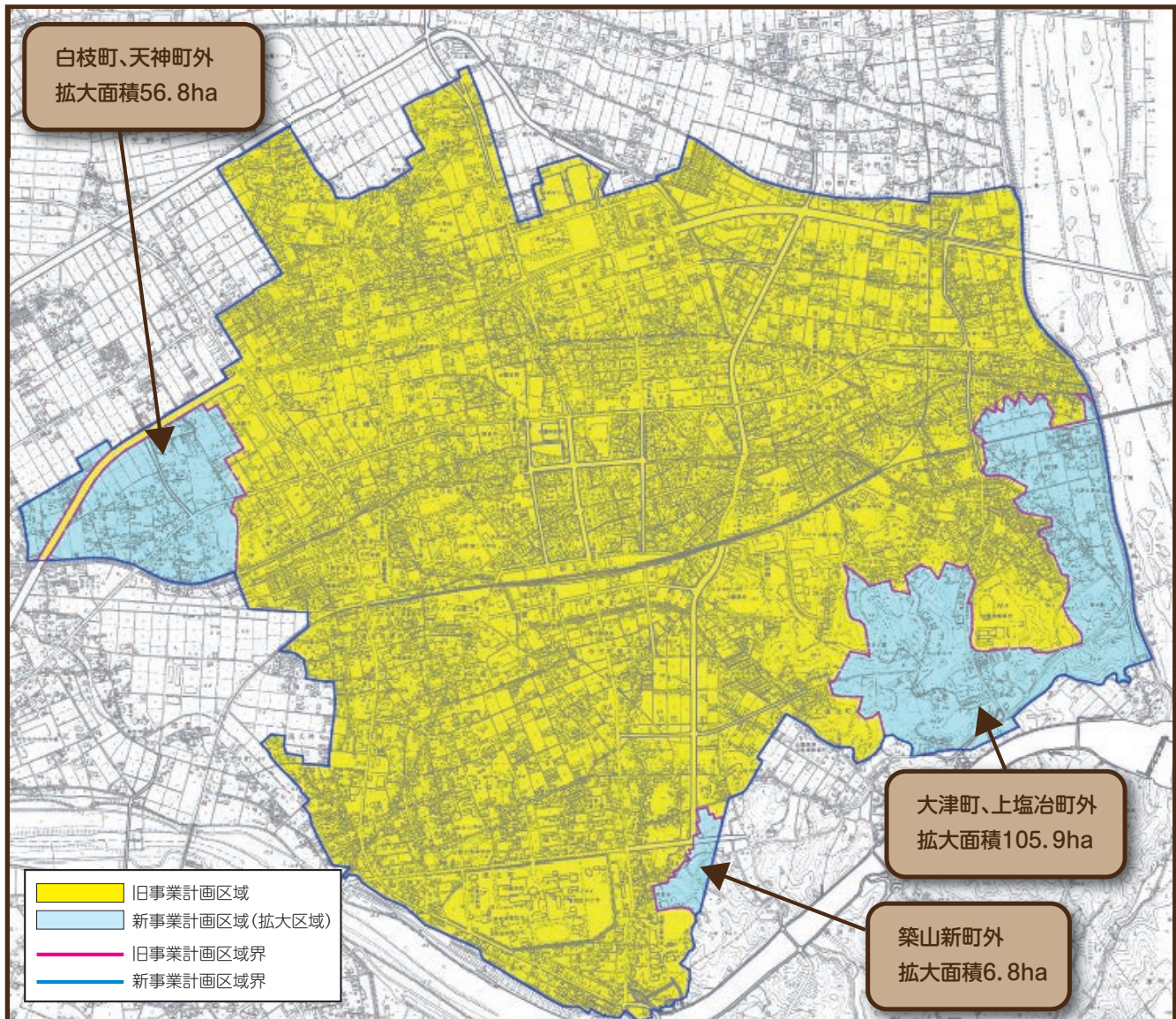
今年度、出雲市流域関連公共下水道事業の事業計画区域の拡大を行いました。
今回拡大を行った区域については、今後概ね7年間で整備を行う予定です。
該当の地域の皆さんには、現地調査や工事などを行う際に、交通規制等でご迷惑をおかけしますが、ご協力をよろしくお願いいたします。



◆ 下水道が整備されると ◆

- 快適な暮らし …… 公共下水道が整備されると、トイレや台所の水などの汚水を下水道管へ直接流すことができるため、私たちの暮らしが快適なものとなります。
- きれいな生活環境… 汚水が側溝に流れ出ないので、悪臭等もなくなります。
- 美しい自然環境 …… 家庭や事業所から排出された汚水は、終末処理場できれいな水に浄化した後、日本海へ放流されるため、川や海などの水質をきれいに保つことができます。

平成27年 公共下水道事業計画拡大区域図(出雲地域)



おたすね / 下水道建設課 ☎ 21-2228